11 子育で教育部院

子育て教育都市

政策03 子育てしやすいまちの形成

- 多様な子育て支援の展開 (P32)

- 保育・幼児教育の環境整備と質の向上 (Р 3 5)

- 子どもの貧困対策とひとり親家庭等への支援(P38)

児童相談所の設置及び円滑な運営(P41)

- 親子の健康推進(P43)

- 小児医療の充実

政策 0 4 心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成

— 確かな学力の定着・向上(P46)

- 創意と工夫にあふれた教育の推進(P49)

· 体験学習等の推進(P51)

- 児童生徒の健康づくりと体力向上(P53)

- 魅力ある教師の育成(P55)

- 学校施設等の整備 (P57)

- 小中学校・幼稚園の運営

- 余暇を利用した学習機会の提供

地域と連携した学校づくり(P59)

- 子どもの健全育成 (P61)

- 家庭教育の支援と地域教育力の向上(P 6 3)

- 生涯学習活動の支援(P65)

- 地域文化とコミュニティの拠点づくり【再掲】

囲みは、重点施策

「多様な子育て支援の展開」

目的・方向性

全ての子育て家庭が安心して子育てができるような支援体制を構築します。

乳幼児及びその保護者に対する多様な子育て施策を展開するとともに、児童が放課後等に安全・安心に過ごせる環境を整備し、児童の健全育成と全ての子育て家庭の福祉の増進を図ります。

成果指標

指標	本年度 (見込み)		実施計画	(第1期)		基本計画 最終年度
	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	3 1年度	3 2 年度	3 8 年度
年少人口(1)	24,328 人	25,483 人	26,106人	26,779人	27,398人	30,320人

^{1...}各年1月1日の人数、29年度以降は「荒川区人口ビジョン」より。

事	業	名	地域の子育	て交流拠点の整備	 着			
実	施方	ī 針	保護者や- きる場を の解消を ・ 利用者の	 「子育て交流サロン配置の基本的方針」に基づき、乳幼児を育てている 保護者や子ども同士の交流とつながりを持ち、かつ相談することがで きる場を提供し、在宅で子育てをしている保護者の育児不安や孤立化 の解消を図ります。 利用者のニーズに応じた講座の開催や、「親子ふれあいひろば」との連 携を強化するなど、内容を充実していきます。 				
実	績 目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度	
	て交流サロ 利用者数	ロン	88,000人	100,000人	100,000人	100,000人	100,000人	
子育 施設	て交流サ ! 数	ロン	16 か所	17 か所	17 か所	17 か所	17 か所	
親子ふれあいひろば 年間利用者数			163,000 人	168,500 人	174,000人	179,500 人	185,000人	
育児	講座参加	者数	17,500人	19,530人	19,560人	19,590人	19,620人	

事	当	¥	名	ファミリー	・サポート・セン	ンター事業				
実	施	方	針		庭の両立等、様々 事業の周知や協					
実	績	目	標	本年度 (見込み)	- 19年度 30年度 31年度 37年度 1					
支援	舌動数			11,500 回	11,500 回	11,800 回	12,100 回	12,500 回		
利用会員数 2,200人 2,300人 2,430人 2,500人						2,500人				
協力:	会員数			400 人	410 人	420 人	430 人	440 人		

事	業	名	認可保育園	における一時保証	 育事業				
実が	 方	針	・ 受入れ実施園の拡大や専用スペースの確保等を図ることで、在宅育家庭のニーズに応えられるよう事業を充実します。						
実	1 目	標	本年度 (見込み)						
延べ利用	見童数		8,471 人	9,158人	9,758人	10,358人	10,958人		
施設数			12 か所	13 か所	14 か所	15 か所	16 か所		
定員数			53 人	60 人	64 人	68 人	72 人		

事	美	Ě	名	病児・病後	病児・病後児保育事業					
実	施	方	針		・ 医療機関との連携強化を図るとともに、事業者の意向等を踏まえなが ら事業の拡大を図ります。					
実	績	目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度		
延べれ	利用児	B児童数 691 人 879 人 879 人 879 人 8					879 人			
施設数				2 か所	3 か所	3 か所	3 か所	3 か所		

事	当	Ě	名	総合的な放記	果後児童事業(放	対課後子ども総合	ゔプラン)の実施	色		
実	施	方	針	備・運営す ・ 施設面等の こにこすく	備・運営する一体型総合プランを推進していきます。 ************************************					
実	績	目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度		
一体 施校	型総合	うプラ	ラン実	15 校	15 校	16 校	16 校	16 校		
連携 施校	連携型総合プラン実			4 校	5 校	8 校	8 校	8 校		

事	当	¥	名	荒川遊園の鬼	 迷力向上			
実 施 方 針 ・ 荒川遊園のさらなる魅力向上のため、大型遊戯施設の入れ替えを中としたリニューアルを行います。							1替えを中心	
実	績	目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度
' '	大型遊戯施設の入れ 替え等			調査・検討	計画・設計 (観覧車、メリ ーゴーランド) 修繕 (豆汽車)	(観覧車、メリ		
しばん	ふ広場	等の)改修	調査・検討	計画・設計	設計	工事	工事完了
C 地区 (2) の改修			修	設計	設計	工事	工事完了	
魅力	向上σ.	事業	等	検討	検討	検討	検討	実施

^{2...}荒川遊園は、区道を境に 3 地区 (観覧車等のある有料地区を中心に構成されている A 地区、子どもプールがある B 地区、スポーツハウス、運動場、地下駐車場がある C 地区) で構成されています。

「保育・幼児教育の環境整備と質の向上」

目的・方向性

就学前の子どもたちが発達段階に応じた適切な保育・教育を受ける環境を整えるとともに、子どもたち一人一人がその可能性を伸ばし、豊かな創造力を育むことができるよう、 更なる保育・幼児教育の環境整備と質の向上を図ります。

成果指標

指標	本年度 (見込み)		実施計画	(第1期)		基本計画 最終年度
	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	3 1年度	3 2 年度	3 8 年度
保育所待機児童 数	164 人	各年度待機児童ゼロを目標 0人				0人
保育利用率	46.9%	47.7%	48.5%	49.3%	50.0%	50.0%

事	当	Ě	名	認可保育園	の整備・運営支持	爰		
実	施	方	針	・特に待機り	の解消に向け、新 児童の多い低年歯 降の保育環境の研	令児を対象とし <i>た</i>		
実	績	目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度
私立作	保育園	数		19 園	24 <u>雨</u>	26 園	27 園	28 園
私立作	保育園	定員	数	1,906人	2,340人	2,502人	2,652人	2,802人
新規開設園数				4 園	5 園	2 園	1 園	1 園
定員	拡大数	Į.		139 人	434 人	162 人	150 人	150 人

事	¥	Ě	名	認証保育所に	認証保育所に対する支援					
実	施	方	針	れない多様だ	な保育ニーズに	対応していきま	かすることで、認可保育園だけでは応えき 対応していきます。			
	,,e	,,	2-1		また、事業者の意向を踏まえながら認可保育園等への移行に向けた支援も実施していきます。					
実	績	目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度		
認証化	正保育所数			10 園	11 園	11 <u>雨</u>	11 園	11 園		
認証保育所定員数				227 人	247 人	247 人	247 人	247 人		

事	業	ŧ	名	保育士の確保	・定着と保育の	質の向上		
実	施	(見込み)				リアアップ補。 により、保育 ワーク体制を で、保育の質 士の資質向上		
実	績	目	標		2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度
奨学金利用者数				-	80 人	80 人	80 人	80 人
就学前教育プログラ ム				活用	活用	活用	活用	活用

事	業	(名	私立幼稚園等	に対する支援			
実	施	方	針	ることで、	や教育環境の向 特色ある幼児教 における預かり	育の実施を支援	受していきます	o
実	績	目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度
私立幼稚園(対象施 設)数			才象施	5 園	6 園	6 園	6 園	6 園
	ある園 事業実		נו	7 事業	7 事業	7 事業	7 事業	7事業
	研修等 実施園			5 園	6 園	6 園	6 園	6 園
預かり保育 延べ利用者数				14,433人	20,000人	22,000人	23,000 人	24,000 人
預かり実施	リ保育 園数			5 園	6 園	6 園	6 園	6 園

事	当	Ě	名	私立幼稚園等の保護者に対する助成						
実	施	方	針		・ 私立幼稚園等に在籍する園児の保護者に対し、入園料及び保育料の一部を補助することで保護者の負担軽減と、就園機会の拡大を図ります。					
実	績	目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度		
補助対象人数 1,544 人 1,592 人 1,600 人 1,600 人 1,600						1,600人				

「子どもの貧困対策とひとり親家庭等への支援」

目的・方向性

子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、また、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、子どもの貧困対策を総合的に推進します。

ひとり親家庭等の自立の促進と安定した生活の実現を図るとともに、子どもの健やかな育ちを支援します。

成果指標

指標	本年度 (見込み)		実施計画	(第1期)		基本計画 最終年度
211,00	28年度	28年度 29年度 30年度		3 1年度	3 2 年度	3 8 年度
子どもの居場所 づくり事業参加 人数	80 人	100人	120 人	140 人	160 人	200 人

事	*	Ě	名	学習支援事	学習支援事業						
実	施	方	針		・ 実施場所の拡大を図り、子どもたちが身近な場所で学習することができる環境を充実します。						
実	績	目	標	本年度 (見込み)	- 19年世 30年世 31年世 31年世 37年世 1						
開設均	場所			1 か所	1 か所	2 か所	2 か所	2 か所			
平均登録児童•生徒数				70 人	70 人	80 人	80人	80 人			

事	当	Ě	名	子どもの居場所づくり事業						
実	施	方	針		・ 実施団体が増え、子どもの居場所が区内全域へ広がるよう、各団体の実施状況や課題を把握し、支援内容を充実していきます。					
実	績	目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度		
補助	団体数	Į		5 団体 8 団体 9 団体						
延べ利用人数				80 人	100人	120 人	140 人	160 人		

事	当	É	名	あらかわ寺子屋事業【再掲 (P48)】					
実	施	方	針	せ、児童・st ・ 教員志望等(全ての区立小中学校において始業前や放課後等の補充学習を充実させ、児童・生徒の学力の向上を図ります。 教員志望等の学生や退職教員等の教員免許保持者を活用するなどして 補充学習の充実を図ります。				
実	績	目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度	
あら 施	あらかわ寺子屋の実 施			実施	実施	充実	充実	充実	

事業	名	ひとり親家	庭相談			
実施が	5 針	に、子ど ³ 支援策を ³ ・ ひとり親 ³ たにひと ¹ す。 ・ 相談窓口I	の方が仕事と子育 もが心身ともに健 実施していきます 家庭へ支援情報が う親家庭を対象と こおいて、子育で ンストップで応し	まやかに成長できた。 が行き届くよう原 こしたメール配信 こ・教育・生活が	きるよう、ニー 周知活動を強化 言等による情報 から就業に関す	ズを踏まえた するため、新 提供を行いま ることまでの
実績	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度
相談件数(全	数)	1,450件	1,500 件	1,520件	1,530件	1,550件
・母子父子福祉 貸付・償還		890 件	900 件	900 件	900 件	900 件
・住宅相談、	主活相談	120件 130件 130件 130件 130				130 件
・就労相談		140 件	150 件	150 件	160 件	160 件
・養育相談		50 件	60 件	70 件	70 件	80 件
・支援事業等		250 件	260 件	270 件	270 件	280 件

事	È	Ě	名	ひとり親家	庭の就業支援						
実	施	方	針	を行い、	・ アンケート調査等によるニーズの把握や、個々の状況に見合った対所を行い、就労につなげるだけでなく、家庭の自立に向けた支援を実施していきます。						
実	績	目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度			
	リ親 ラム策		支援プ	20 件	20 件	20 件	20 件	20 件			
	職業記 支給人		足進給	4人	5人	6人	6人	6人			
入学 支給.		多了-	−時金	3人	2人	5人	5人	5人			
	支援 支給人		川練給	3人	5人	5人	5人	5人			
			等保育 引用人		3人	3人	3人	3人			

「児童相談所の設置及び円滑な運営」

目的・方向性

児童相談所を設置し、児童相談行政を担うことで、地域全体で切れ目ない一貫した相談・ 支援を行います。そして、全ての子どもの生命と安全を守り、子どもたちが健やかに成長 し、未来に希望を抱ける地域社会とするために、児童相談行政の更なる充実を図ります。

成果指標

指標	本年度 (見込み)		基本計画 最終年度			
	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	3 1年度	3 2 年度	3 8 年度
児童虐待相談新 規受理件数(子ど も家庭支援セン ター)	300 件	350 件	400 件	450 件	500 件	600 件
相談対応活動件 数(子ども家庭支 援センター)	25,000 件	25,500 件	26,000 件	26,500 件	27,000 件	30,000 件
区内の養育家庭 数	7 世帯	8 世帯	9 世帯	10 世帯	11 世帯	20 世帯

事	当	Ě	名	要保護児童対	要保護児童対策事業						
実	施	方	針	する通告や うとともに、	・ 児童虐待や養育困難などにより深刻な状況に置かれている子どもに関する通告や連絡・相談に応じ、要保護児童等の適切な保護・支援を行うとともに、子どもの安定した養育環境を整備するため家庭への支援にも取り組みます。						
実	績	目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度			
	養育支援訪問事業利 用者世帯数		36 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯	40 世帯				
養育家庭体験発表会 参加数		26 人	50 人	60 人	70 人	100人					

事	Ę	Ě	名	児童相談所の開設							
実	施	方	針	を構築した ・ 子どもが 開設に合わ	・ 都や特別区間の連携体制を確保し、質の高い専門人材による職員体制を構築した上で、平成32年4月の児童相談所の開設を目指します。・ 子どもが家庭的な環境の中で養育され成長できるよう、児童相談所の開設に合わせて、里親の拡大や児童養護施設又はグループホームの誘致等、社会的養護の体制整備に取り組みます。						
実	績	目	標	本年度 (見込み)	- 19年度 30年度 31年度 37年度 1						
施設	の整備	Ī		用地取得	設計	設計・工事	工事	開設			
1 '	尔)児 討会譲		淡所設	-	設置・開催	開催	開催	開設			
里親の拡大 普及啓発 普及啓発 普及啓発 普及啓発 ガ						拡大					
児童養護施設等の誘 致				-	検討	検討・設計	工事	開設			

事	美	Ě	名	ショートス	テイ事業						
実	施	方	針	に困難にが 庭の福祉(・ 保護者による育児不安や疾病等により、家庭で子どもの養育が一時的 に困難になった場合、短期間、保護して養育することは子ども及び家 庭の福祉の向上につながるため、受入先の拡充に努めながら引き続き 実施していきます。						
実	績	目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度			
ショ人数	- F.	スティ	(利用	40 人	45 人	50 人	50 人	50 人			
乳幼児ショートステ イ利用人数 14人 17人 20人 20						20 人	20 人				
受入先の拡充				-	調査・検討	拡充	実施	実施			

「親子の健康推進」

目的・方向性

誰もが安心して妊娠・出産ができるよう、妊婦に寄り添った産前産後の支援を行います。 また、乳幼児が健やかに発育・発達し、親が安心して育児ができる環境を整備します。

成果指標

指標	本年度 (見込み)		実施計画	(第1期)		基本計画 最終年度
	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	3 1年度	3 2 年度	3 8 年度
区の合計特殊出 生率	1.31	1.33	1.34	1.35	1.36	1.43
育児不安を持つ 親の割合	23.6%	22.6%	21.6%	20.6%	19.6%	12%
乳幼児健診受診 者数	8,500人	8,650人	8,800人	8,950人	9,100人	10,000人
講座を通じて友 人ができた人の 割合	85%	85.6%	86.2%	86.8%	89.4%	91%
子育てグループ 数	7	8	9	10	11	17

事	業	業 名 安心して妊娠・出産ができるための支援						
実	施	方	針	を踏まえ、主 習得と育児の ・ 親となる心構 意識の向上を	に初妊婦に対し 孤立化を防ぐた えを学び、育り	ン、妊娠出産及 こめの仲間づく! 見問題解決能力 らって子育てに	安感を訴える母び育児に対する ひ育児に対する りを支援します。 や夫婦の子育て 取り組めるよう 爱します。	正しい知識の。 における協働
実	実績目標			本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度
母親学級参加人数		975 人	980 人	985 人	990 人	995 人		
両親:	両親学級参加人数			880 人	890 人	900人	910 人	920 人

事	*	Ě	名	子どもの健やかな発育・発達への支援							
実	施	方	針	児不安等を持	子どもの健やかな成長と健康を確認するとともに、親の育児困難、育 児不安等を把握し、必要な支援につなげることで、乳幼児の健全な育 成を図ります。						
実	績	目	標	本年度 (見込み) 29年度 30年度 31年度				3 2 年度			
乳幼児健診受診者数				8,500人	8,650人	8,800人	8,950人	9,100人			
離乳食講習会参加者 数				2,010人	2,020人	2,030人	2,040人	2,050人			

事	¥		名	育てにくさを	育てにくさを感じる親への支援							
実	施	方	針	・ 育児困難を抱える親・家族を支援することにより、育児困難や育児不安の解消と地域における孤立感解消を図ります。・ 親の心の問題や精神疾患等の親側の不安の要因に寄り添う支援を行うとともに、支援の必要な親子に対しては、関係機関と連携を図り継続的に支援していきます。								
実	績	目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度				
数()		つ傾向	削用者 句があ)	50 人	55 人	60 人	65 人	70 人				
(育児		がある	月者数 る母親	160 人	165 人	170 人	175 人	180 人				
めだか・ぱんだタイム 利用者数(発達障がい の疑いのある児や育 児不安がある母親へ の支援)				190 人	195 人	200 人	205 人	210人				
小さゃんの		まれた	た赤ち	200 人	205 人	210 人	215 人	220 人				

-		12	_								
事	3	É	名	宿泊型産後ケア事業							
実	施	方	針	のあやし	・ 初めての育児となる母親に、助産師等が授乳や沐浴の仕方、赤ちゃんのあやし方など、基本的な育児方法を指導するとともに、産後の不安定となる時期に母親の休養の機会を提供し、心身のケアを図ります。						
実	績	目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度			
利用件数				-	150 件	200 件	250 件	300 件			
実施[医療機	関件	数	-	2 か所	3 か所	3 か所	3 か所			

「確かな学力の定着・向上」

目的・方向性

21世紀の社会は知識基盤社会であり、新しい知識・情報・技術の習得が求められることから、知識や技能はもちろんのこと、学ぶ意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力等、確かな学力を子どもたちに身に着けさせます。

成果指標

指標	本年度 (見込み)		実施計画	(第1期)		基本計画 最終年度
	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	3 1年度	3 2 年度	3 8 年度
全国学力調査 区と全国の平均 正答率との差 (小・国語A)	+1.6 ポイント	+2.0 ポイント	+2.4 ポイント	+2.8 ポイント	+3.2 ポイント	+6 ポイント
全国学力調査 区と全国の平均 正答率との差 (小・算数A)	+0.8 ポイント	+1 . 1 ポイント	+1.4 ポイント	+1.7 ポ [°] イ ント	+2.0 ポイント	+4 ポイント
全国学力調査 区と全国の平均 正答率との差 (中・国語A)	-0.9 ポイント	-0.5 ポイント	-0.1 ポイント	+0.3 ポイント	+0.7 ポイント	+3 ポイント
全国学力調査 区と全国の平均 正答率との差 (中・数学A)	-2.8 ポイント	-2.0 ポイント	-1.2 ポイント	-0.4 ポイント	+0.4 ポイント	+5 ポイント

事	舅	Ě	名	学校図書館支援事業						
実	施	方	針	・ 言語活動の	・ 学校図書館を充実させ、全ての教科等の学習で活用を推進します。・ 言語活動の充実のために学校司書を全校に5日間常駐配置します。・ スーパーバイザーを配置し、学校司書の指導育成機能を強化します。					
実	績	目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度		
授業	授業での活用回数			15,500 回	16,320 回	17,680 回	19,040 回	20,400 回		
授業以外での学校図 書館の利用			学校図	実施	実施	充実	充実	充実		

事	Ì	¥	名	情報教育指導							
実	施	方	針	トワークを ・ プログラミ ・ 研修会の実	フロックスクラ教育なの間を可心って自己にのの教師と記憶とし						
実	績	目	標	本年度 (見込み)	本年度 2.9年度 3.0年度 3.1年度 3.2年度						
習の	ICTを活用して学習の興味・関心を高めることができる教員の割合(1)			90.0%	92.0%	93.0%	94.0%	95.0%			
考や	理解で できる	を深め	って思 かるこ 員の割	90.0%	92.0%	93.0%	94.0%	95.0%			

^{1...「}学校における教育の情報化の実態等に関する調査」

事	当	ŧ	名	算数・国語大	好き事業					
実	施	方	針	習熟度別学 国語の授業	・ 算数、国語への興味・関心を高め、確かな学力の定着を図るために、 習熟度別学習に加え、小学校1、2年生時の算数、小学校1年生時の 国語の授業を少人数指導やティームティーチングで行い、きめ細やか な指導を実施します。					
実	績	目	標	本年度 (見込み) 29年度 30年度 31年度 3						
めの	荒川区学力向上のた めの調査 小学校国語(1、2年 生)正答率			83.0%	84.5%	86.0%	88.0%	90.0%		
めの記	調査	ζ(1,	上のた 、2年	88.0%	88.5%	89.0%	89.5%	90.0%		

事	對	Ě	名	あらかわ寺子	あらかわ寺子屋事業					
実	施	方	針	せ、児童・ ・ 教員志望等	・全ての区立小中学校において始業前や放課後等の補充学習を充実させ、児童・生徒の学力の向上を図ります。・教員志望等の学生や退職教員等の教員免許保持者を活用するなどして補充学習の充実を図ります。					
実	績	目	標	本年度 (見込み)	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
あら 施	あらかわ寺子屋の実 施			実施	実施	充実	充実	充実		

「創意と工夫にあふれた教育の推進」

目的・方向性

学校図書館の充実やICT機器の活用、校長の裁量権を生かした特色ある学校づくり等 を進め、これからの変化の激しい社会をたくましく生き抜くために必要な力を養います。

成果指標

指標	本年度 (見込み)		実施計画	(第1期)		基本計画 最終年度
	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	3 1年度	3 2 年度	3 8 年度
コンピューター等 を活用して資料を 効果的に提示する ことができる教員 の割合(1)	90.0%	92.0%	93.0%	94.0%	96.0%	100.0%
英語が好きな児童 生徒の割合(2)	79.0%	79.5%	80.0%	81.5%	82.0%	85.0%
先生や友達と楽し い学校生活を過ご している児童生徒 の割合(3)	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%

- 1...「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」より。
- 2...「英語教育についてのアンケート」より。 3...「学校関係者評価」より。

事	当	Ě	名	学校パワー	学校パワーアップ事業(創造力あふれる教育の推進)					
実	施	方	針	学校づく「	川区 」宣言による りを推進するとと 各校独自の教育活	こもに、様々な引	F段を活用して	地域や保護者		
実	績	目	標	本年度 (見込み)	本年度 2.9 年度 3.0 年度 3.1 年度 3.2 年					
地域や保護者への情 報発信			への情	実施	実施	充実	充実	充実		

事	舅	¥	名	学校図書館支援事業【再掲(P47)】						
実	施	方	針	・ 学校図書館を充実させ、全ての教科等の学習で活用を推進します。・ 言語活動の充実のために学校司書を全校に5日間常駐配置します。・ スーパーバイザーを配置し、学校司書の指導育成機能を強化します。						
実	績	目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1年度	3 2 年度		
授業	授業での活用回数			15,500 回	16,320 回	17,680 回	19,040 回	20,400 回		
授業以外での学校図 書館の利用			学校図	実施	実施	充実	充実	充実		

				1							
事	当	¥	名	小学校英語教	小学校英語教育の推進						
実	施	方	針		- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
実	績	目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度			
実技術	実技研修の実施			実施	実施	充実	充実	充実			
英語の授業が楽しい と感じる児童生徒の 割合(4)				81.0%	82.0%	83.0%	84.0%	85.0%			

4...「英語教育についてのアンケート」より。

事	当	Ě	名	情報教育指導	【再掲(P47)】			
実	施	方	針	トワークを	舌用した学習指 ング教育等の論 施等を通して、	たタブレット P 導を推進します 理的思考を育む タブレット P C	⁻。 ♪ための取組を	推進します。
実	実を積り目に標			本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度
興味とが	ICT を活用して学習の 興味・関心を高めることができる教員の割合(5)			90.0%	92.0%	93.0%	94.0%	95.0%
理解		りるこ	思考や ことが 合(5)	90.0%	92.0%	93.0%	94.0%	95.0%

^{5...「}学校における教育の情報化の実態等に関する調査」より。

「体験学習等の推進」

目的・方向性

自然体験等を通して、子どもたちに「生きる力」や「思いやりの心」、「他者への共感」「自己肯定感」等を育みます。また、ものづくり体験や勤労体験を通じて、子どもたちの「創造性」や「自主性」を醸成します。

成果指標

指標	本年度(見込み)			基本計画最終年度		
	28年度	2 9 年度	30年度	3 1 年度	3 2 年度	3 8 年度
自然体験事業参加者数(1)	145 人	150 人	156 人	156 人	162 人	190 人

^{1…「}チャレンジキャンプ」、「全国連携キャンプ」、「自然まるかじり体験塾」の参加者数の合計で算出。

事	j	業	名	自然体験事	業の推進						
実	施	方	針	然があふれ の質・量 ・ 親子で参加 心等が高	自然への畏敬の念や子どもたちの「生きる力」を育むため、豊かな自然があふれる自治体や子ども関連団体等の連携を図り、自然体験事業の質・量共に充実させ、裾野を広げます。 親子で参加できる自然体験事業等を実施し、保護者の自然体験への関心等が高まる工夫をすることで、子どもたちが積極的に自然体験の機会を得られるようにします						
実	績	目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度			
チャ 参加 [:]		ジキャ	ァンプ	80 人	85 人	85 人	85 人	85 人			
全国参加		キャ	ンプ	25 人	25 人	30人	30 人	35 人			
自然まるかじり体験 塾参加者数 40 2				40 人	40 人	41 人	41 人	42 人			

事	美	Ě	名	ふれあい教	ふれあい教育の推進					
実	施	方	針	た学校教 ・ 職場体験	・ 地域の特性を生かしたボランティア活動や地域体験学習等を取り入れた学校教育を推進し、郷土愛や福祉の精神の涵養などを図ります。・ 職場体験等を通して夢や希望を育み、体験したことを更に調べるなど事後学習の充実を図ります。					
実	績	目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度		
	中学校ボランティア 体験の実施		実施	実施	充実	充実	充実			
小学校職場体験の実 施			剣の実	実施	実施	充実	充実	充実		

事	*	Ě	名	体験学習推進	体験学習推進事業						
					もち、考え、解? 機会を拡充しま		きる力」を育品	成するために、			
実	施	方	針	_	・ 子どもたちが自己の生き方を考える啓発的体験として、教育活動全体 の中で意図的・計画的に取り組みます。						
	,,,,	,,	21	各校で自然きます。	各校で自然体験を実施するとともに、校外での実体験を取り。 きます。						
				・ 勤労留学の	実施後に新聞作 せます。	成や発表会を実	『施するなど、 	事後学習の取			
実	績	目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度			
自然们	自然体験の実施			実施	実施	充実	充実	充実			
勤労留学実施					実施	充実	充実	充実			
合宿泊	通学			実施	実施	実施	実施	実施			

事	当	É	名	ようこそ青年	ようこそ青年海外協力隊						
実	施	方	針	協力してき	・ 技術や知識を生かして開発途上国の国づくり、人づくりに身をもって協力してきた青年海外協力隊の方々を学校に招き、子どもたちの夢や 希望を育みます。						
					調べたり授業を 様々な工夫を推		たりするなど	、目的に応じ			
実	績	目	標	本年度 (見込み)	本年度 2.9年度 3.0年度 3.1年度 3.2年度						
取組方法の工夫				実施	実施	充実	充実	充実			

「児童生徒の健康づくりと体力向上」

目的・方向性

子どもたちが健康な心身を育み、生涯にわたって健康づくり・体力向上に取り組むことができるよう、望ましい基本的な生活習慣の確立を目指すとともに、学校における体育やスポーツの環境を充実します。

成果指標

指標	本年度 (見込み)		実施計画	(第1期)		基本計画 最終年度
	28年度	2 9 年度	3 0 年度	3 1年度	3 2 年度	3 8 年度
12 歳児で未処置 歯(1)のない者の 割合	90.5%	91.0%	91.5%	92.0%	92 . 5%	94.0%
体力調査(2)・体 力合計点(小5男 子) 【東京都平均】	53.4点	53.5 点	53.7点	53.8点	54.0 点	55.4 点
体力調査・体力合 計点(小5女子) 【東京都平均】	55.2点	55.4点	55.6 点	55.8点	56.0 点	57.2点
体力調査・体力合 計点(中2男子) 【東京都平均】	39.9点	40.0 点	40.2 点	40.3点	40.5点	41.8点
体力調査・体力合計点(中2女子) 【東京都平均】	46.7点	46.9 点	47.1点	47.3点	47.5 点	49.0 点

^{1...} う歯が治療されていない歯のこと。

^{2…「}東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」における体力区分のことで、握力、上体起こし、反復横とび等8項目を調査するもの。8項目で80点満点。

事	当	Ě	名	学校歯科保	学校歯科保健の充実						
実	施	方	針		・ 児童生徒のう歯予防活動のための口腔健康教育啓発事業を実施していくとともに、中学校における給食後歯磨きの実施校を増やしていきます。						
実	績	目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度			
給食後歯磨き実施校 (中学校)			尾施校	20%	30%	40%	50%	60%			

事	当	Ě	名	食育の充実	・推進						
実	施	方	針	考える機会	「食育推進給食」の実施により、食育啓発の実践するとともに、給食を考える機会及び給食メニュー開発の機会を作るなど給食内容の充実を図っていきます。						
					「早寝・早起き・朝ご飯」の重要性について普及啓発し、家庭における 食育を推進します。						
実	績	目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度			
	推進糹 (小学)補助	4.7%	4.7%	4.7%	6.6%	6.6%			
食育推進給食の補助 拡充(中学校) 4.9% 4.9%					4.9%	6.5%	6.5%				
家庭における食育の 推進 推進 推進 推進 推進					推進						

事	¥	Ě	名	児童生徒の	児童生徒の体力向上						
実	施	方	針	交通費補助の活性化ない。 の活性化ない。 ・ 児童生徒な	・ 中学校の部活動における外部指導員の配置を継続・拡充するとともに、 交通費補助制度を活用した各種大会への参加を積極的に促し、部活動 の活性化を図ります。・ 児童生徒が運動の楽しさを知り、仲間と協力して運動に親しもうとす る習慣を育みます。						
実	績	目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度			
	部活動における外部 指導員の配置回数		4,080 回	4,080 回	4,180 回	4,280 回	4,380 回				
各種数	各種大会への参加回 数		500 回	500 回	540 回	580 回	620 回				
各種機会を活用した 児童の体力向上				実施	推進	推進	推進	推進			

「魅力ある教師の育成」

目的・方向性

荒川区の未来を担う子どもたちが、たくましく生きる力を培い、地域社会の構成員として信頼と尊敬を得られる人間性豊かな人として成長するために、その師としてふさわしい、魅力ある教師の育成を目指します。

成果指標

指標	本年度 (見込み)		実施計画	(第1期)		基本計画 最終年度
	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度	3 8 年度
悩みや不安、心配 事を相談できる 先生がいると感 じる児童生徒の 割合(1)	68.0%	70.0%	71.0%	72.0%	73.0%	80.0%
困ったときに先 生が相談に乗っ てくれると感じ る児童生徒の割 合(1)	73.6%	75.0%	76.0%	77.0%	78.0%	85.0%

^{1...「}学校関係者評価」より。

事	¥	Ě	名	新たな教員研	新たな教員研修体系の実施					
				子どもたち	修の他に、教育記 への教育の充実	を図ります。				
実	施	方	針		・ 管理職研修を実施し、各校における校務改善や人材育成などを通し 校務の効率化を推進します。					
					カリキュラムマネジメント等、新学習指導要領を踏まえた研修内容を 充実させます。					
実	実績目標			本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度		
1	-		会、副 会の実	実施	実施	充実	充実	充実		
教育課題に対応した 取組			い した	実施	実施	充実	充実	充実		

事	当	Ě	名	荒川区教育研	荒川区教育研究会等との連携						
実	施	方	針	等の学校教育	・ 荒川区立学校の教職員が会員となる「荒川区教育研究会」、校(園)長会等の学校教育関係団体が行う調査・研究を助成し、授業研究の質を高め、教職員の資質向上を図ります。						
実	績	目	標	本年度 (見込み)	- 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						
研究 数	研究指定校の希望校 数			10 校	11 校	12 校	13 校	14 校			

事	舅	Ě	名	情報教育指導	情報教育指導【再掲(P47)】						
実	施	方	針	トワークを活	・情報活用能力の育成に向けたタブレットPC等ICT機器や教育ネトワークを活用した学習指導を推進します。・ プログラミング教育等の論理的思考を育むための取組を推進します。						
				・ 研修会の実施 導力の向上を		タブレットPC	の効率的な活	用等教員の指			
実	績	目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度			
興味とが	ICT を活用して学習の 興味・関心を高めることができる教員の割合(2)			90.0%	92.0%	93.0%	94.0%	95.0%			
理解	を深め	かるこ	思考や ことが 合(2)	90.0%	92.0%	93.0%	94.0%	95.0%			

^{2...「}学校における教育の情報化の実態等に関する調査」より。

「学校施設等の整備」

目的・方向性

児童生徒の安全確保と学級数の増加等に対応するとともに、多様な学習にも対応できる 学校施設を整備します。

さらに、地域の施設利用や学童等の子育て支援との連携を見据えた効果的な学校施設の 活用を推進します。

成果指標

指標	本年度 (見込み)		実施計画	(第1期)		基本計画 最終年度
	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	3 1年度	3 2 年度	3 8 年度
大規模改修工事 (小学校)	45.6%	50%	55%	60%	65%	100%
大規模改修工事 (中学校)	50.0%	55%	60%	65%	70%	100%

事	当	Ě	名	教育施設の	教育施設の長寿命化計画(個別施設計画)の策定						
実	施	方	針	化を図り	計画的な大規模改修及び修繕により予防保全を実施し、施設の長寿命化を図ります。施設の老朽化に対応するため、耐用年数に応じた改築を検討します。						
実	績	目	標	本年度 (見込み)	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
	教育施設の 固別施設計画策定 調査 方針策定 計画策定 実施						実施				

事	業	É	名	学校施設の	学校施設の改修・増築						
				・ 児童生徒数の増加に伴い、教室等の拡充が見込まれる際には、校舎の 改修又は増設等により対応します。							
実	施	方	針	· 教育環境?	・ 教育環境充実のために必要となる学校用地の取得等を適宜進めます。						
					・ 改修等を行う際には、より柔軟に施設の活用を図るとともに、習熟度別学習やICT等、多様な学習形態に対応できる施設を整備します。						
実	績	目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度			
学校加	学校施設の改修・増築 調査・実施 調査・実施 調査・実施 調査・実施 調査・実施										

事	当	Ě	名	学校施設の	学校施設の管理・運営						
	施方針				・ 施設の安全性確認や、設備の保守点検、機器の更新など適切な管理 実施します。						
実	施	方	針		で必要な教室等 <i>を</i> 的な活用を進めま		子育て施設への	協力など、施			
実	績	目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度			
学校施設の管理・運営			・運営	調査・実施	調査・実施	調査・実施	調査・実施	調査・実施			

「地域と連携した学校づくり」

目的・方向性

地域社会に開かれた学校づくりを進め、地域と一体となった学校教育を推進していきます。

成果指標

指標	本年度 (見込み)		実施計画(第1期)				
	28年度	2 9 年度	3 0 年度	3 1年度	3 2 年度	3 8 年度	
教師が、保護者や 地域と協力して より良い学校を 作ろうとしてい ると感じる保護 者の割合(1)	70.0%	71.0%	72.0%	73.0%	74.0%	80.0%	

^{1...「}学校関係者評価」より。

事	Š	Ě	名	学校関係者	学校関係者評価(学校評議員会、学校評価制度)						
実	施	方	針	・ 保護者や ⁵ 進します。	校づくりを推						
	טוני	,,	Ψ1		の状況について討 句上に努めます。	平価し、外部評価	画を活用して改 	善を図り、教			
実	績	目	標	本年度 (見込み)	本年度 2.9年度 3.0年度 3.1年度 3.2年度						
外部評価の活用 実施 実施 充実 充実 充実					充実						

事	Ę	Ě	名	ふれあい教	ふれあい教育の推進【再掲(P52)】						
実	施	方	針		・ 地域の特性を生かしたボランティア活動や地域体験学習等を取り入れ た学校教育を推進し、郷土愛や福祉の精神の涵養などを図ります。						
実	績	目	標	本年度 (見込み)	- 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						
	中学校ボランティア 体験の実施			実施	実施	充実	充実	充実			
小学校職業体験の実 施			剣の実	実施	実施	充実	充実	充実			

事	当	Ě	名	地域活動へ	の貢献					
実	施	方	針	来、防災济	・「助けられる人から助ける人へ」という意識や思いやりの心を育て、将来、防災活動のみならず、地域活動に貢献できる防災ジュニアリーターを育成します。					
実	績	目	標	本年度 (見込み)	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
1	中学校防災部の部員 数(卒業生含む累計)		375 人	425 人	475 人	525 人	575 人			
ジュニア防災検定合 格率			食定合	80.0%	82.0%	84.0%	86.0%	88.0%		

「子どもの健全育成」

目的・方向性

子どもを取り巻く環境の急激な変化により、子どもたちや保護者が抱える課題も多様化・複雑化している中、子どもの感性を豊かにして、人生や社会の在り方を創造的に考えるために、道徳教育や人権教育を通して、自己肯定感を高め、人や社会とのつながりを深めることで心豊かな子どもたちを育成します。

成果指標

指標	本年度 (見込み)		実施計画	(第1期)		基本計画 最終年度
	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	3 1年度	3 2 年度	3 8 年度
問題行動調査 「不登校出現率」 (小中)	1.7%	1.6%	1.5%	1.4%	1.3%	1.0%
問題行動調査 「学校復帰率」 (小中)	23.7%	25.0%	27.0%	30.0%	32.0%	40.0%
スクールソーシャルワーカー活 動実績	6,000件	6,200 件	6,300件	6,400件	6,500件	6,600件

事		É	名	適応指導教	適応指導教室運営						
実	施	方	針	ツ活動の	・ 不登校や保健室登校等の状態にある児童、生徒に対して学習やスポーツ活動の指導、悩み等の相談を行い、登校する意欲を高め、在籍校への復帰を目指します。						
実	績	目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度			
	籍校~		削用者 夏帰率	81.0%	82.0%	83.0%	84.0%	85.0%			

事	*	Ě	名	教育相談事務	(福祉専門相談	員含む)					
				· 教育相談室	・ 教育相談室において、学校における教育相談を支援します。						
実	施	方	針		・ 特別な支援が必要なケースは、専門性を生かした相談及び家庭や関係 機関と連携した対応を行い、問題等の解決を図ります。						
実	績 目 標 (見込み) 本年度 29年度 30年度 31年度 32年度							3 2 年度			
	行動調 登校出		7(小)	0.40%	0.35%	0.30%	0.25%	0.20%			
問題行動調査 「不登校出現率」(中)			」(中)	3.10%	3.0%	2.9%	2.8%	2.7%			
教育	相談件	数		7,050 件	7,500件	8,000件	8,500件	9,000件			

事	美	ŧ	名	心理専門相談	員配置事業					
実	施	方	針	心理専門相談	心理専門相談員として配置し、いじめや不登校の未然防止、改善及び 解決並びに学校内の教育相談体制等の充実を図ります。					
実	績	目	標	本年度 (見込み) 29年度 30年度 31年度 3						
	寸動調 登校出		」(小)	0.40%	0.35%	0.30%	0.25%	0.20%		
	問題行動調査 「不登校出現率」(中)			3 100%		3.00%	2.95%	2.90%		
巡回	巡回相談件数			11,500 件	12,000 件	12,500 件	13,000 件	13,500 件		

事	当	É	名	人権尊重教育の推進						
				・ 人権尊重の	理念を広く社会	に定着させ、あ	らゆる偏見や	差別の解消を		
実	施	方	針		・ 人権尊重教育推進校による成果発表に区内公立学校の教職員が参加 し、人権教育を一層充実させます。					
					教育郷土教材集 えを理解し、思					
実	績	目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度		
研究	発表会	参加.	人数	240 名	250 名	260 名	270 名	280 名		

「家庭教育の支援と地域教育力の向上」

目的・方向性

子どもたちが個性や能力を十分に発揮し、心豊かに成長するためには、学校・家庭・地域の連携が不可欠であり、区は、家庭教育への支援を継続するとともに、地域社会の発展を支える地域教育力の向上を図ります。

成果指標

指標	本年度 (見込み)		実施計画(第1期)					
	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	3 1年度	3 2 年度	3 8 年度		
家庭教育学級参加 者数	180 人	180 人	190 人	200 人	210 人	250 人		
P T A 連携家庭教育学級実施回数	8 回	10 回	12 回	15 回	15 回	15 回		
親育ち支援事業支 援実績	40 事業	42 事業	42 事業	44 事業	44 事業	50 事業		
地域教育力向上支 援事業支援実績	7事業(新規4)	7事業	6 事業 (新規 3)	6事業(新規3)	6 事業	6事業		
	(累計 22)	(累計 22)	(累計 25)	(累計 28)	(累計28)	(累計40)		

事	Ę	Ě	名	家庭教育学	級							
実	施	方	針		・ 子育て中の保護者が、家庭や家族の役割を学ぶことのできる講座を実施し、家庭の教育力の向上を図ります。							
実	績	目	標	本年度 (見込み)								
家庭数	教育等	学級参	参加者	180 人	180 人	190 人	200 人	210 人				
1	数 PTA連携家庭教育 学級実施回数			8 回	10 回	12 回	15 回	15 回				

事	¥	Ě	名	親育ち支援事業					
実	施	方	針	興を図り、	クル等が実施す 親自身の家庭教 部を補助します	育力向上につる			
実	績	目	標	本年度 (見込み)	- ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				
支援	実績			40 事業	42 事業	42 事業	44 事業	44 事業	

事	当	Ě	名	地域子育て教	地域子育て教室					
実	施	方	針		保護者が保護者 てしやすい環境 実施します。					
実	績	目	標	本年度 (見込み)	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
実施回数				2 回	2 回	3 回	3 回	4 回		

事	舅	Ě	名	地域教育力向	地域教育力向上支援事業				
実	施	方	針			ため、地域で活 族同士の交流事			
実	績	目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度	
支援実績				7 事業	7 事業	8事業	8 事業	8事業	
支援	実績累	計		22 事業	22 事業	26 事業	29 事業	29 事業	

事	業	ŧ	名	合宿通学	合宿通学					
実	施	方	針	をしながら	・ 子どもたちが、親元を離れ、異年齢での共同生活や地域での体験活動をしながら通学することにより、家庭の大切さを認識するとともに、協調性や自立心を高め、「生きる力」をつける機会とします。					
実	績	目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度		
実施に当たっての指導・助言			の指	実施	実施	実施	実施	実施		

「生涯学習活動の支援」

目的・方向性

乳幼児から高齢者まで全ての区民が生涯にわたる「学び」を通じて人や社会とのつながりを深め、心豊かな生活や生きがいづくりにつながるよう、学習情報や学習機会の提供、「学び」の場の整備、協働・連携の促進等により、生涯学習活動を支援します。

成果指標

指標	本年度 (見込み)		実施計画	(第1期)		基本計画 最終年度
	2 8 年度	2 9 年度	3 0 年度	3 1年度	3 2 年度	3 8 年度
生涯学習センタ ー利用者数(多目 的広場、PC室を 除く)	175,000人	176,000人	177,000 人	178,000 人	179,000 人	185,000 人
町屋文化センタ ー利用者数	190,000人	191,000 人	192,000 人	193,000 人	194,000 人	200,000人
社会教育サポー ター登録数	135 人	135 人	135 人	135 人	135 人	135 人
社会教育サポー ター派遣実績	140 回	150 回	150 回	150 回	150 回	150 回
荒川コミュニティカレッジ修了 生(累計)	226 人	259 人	301 人	349 人	405 人	765 人

事	¥	É	名	生涯学習セ	ンター						
実	施	方	針		・ 区民の様々な学習意欲に応えるため、生涯学習の拠点施設として、学びの場や学習機会、学習情報等を提供し、生涯学習の推進を図ります。						
実	績	目	標	本年度 (見込み)							
	者数 (P C 室			175,000人	176,000 人	177,000人	178,000人	179,000人			
区民:	カレッ	ジ参	加数	3,950人	4,000人	4,050人	4,100人	4,150人			

事	業名		名	町屋文化センター						
実	施	方	針	・ 学ぶ喜び、創る楽しさ、ふれあいの場づくり等の機会を区民に提供し、 区における学習・文化活動の推進を図ります。						
実	績	目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度		
利用者	者数			190,000 人	191,000 人	192,000人	193,000人	194,000 人		
カルチャー講座参加 者数				5,000人	5,050人	5,100人	5,150人	5,200人		

事	業		名	荒川コミュニティカレッジ						
実	施	方	針	 より良い地域社会を築く担い手として活躍するために必要な知識と 術を身につける学びの場として開校した荒川コミュニティカレッジ ついて、区民が地域への関心を深めるとともに、地域活動の担い手 なれるよう、更なる学びの場を提供するとともに、主体的に地域活 に取り組めるよう支援します。 修了生が地域活動に効果的に取り組んでいけるよう、適切なフォロ アップを行っていきます。 						
実	績	目	標	本年度 (見込み)	2 9 年度	3 0 年度	3 1 年度	3 2 年度		
修了	生数(累計)	226 人	259 人	301 人	349 人	405 人		